

「聖域」です。この島には人は住んでいませんが、大築海貝塚という遺跡があり、太古の昔、縄文時代から弥生時代にかけて人々が生活していたことがわかっています。貝塚（かいづか）とは、人が貝殻など生活でいらなくなったゴミなどを捨てた場所をいいます。昭和39年に東京の大学が発

答志島の東に大築海島（おづくみじま）という島があります。この島は地元では、立ち入りが制限されていて、周辺も禁漁区となつている

大築海島にも
縄文人がいた！

鳥羽のお宝
再発見!



vol.23

教育委員会生涯学習課
☎ 1268



発掘された大築海島

掘調査をしており、縄文時代の終わり（約2000年前）から古墳時代（約1500年前）にかけての人々の生活の跡や土器などがたくさんみつかりました。中には、貝でつくつたブレ



出土した土器



貝輪

スレットや動物の骨で作った銚（ちやう）などもあります。土器にも、日本海側の山陰地方の特徴をもつ土器もあり、ほかの地域と交流をもっていたことがうかがえるのです。現在、調査で出たものは、大学に保管されていますが、一般公開はされていません。郷土の大事な資料でもあるため、鳥羽に里帰りできるようにする予定です。

みんなで子育て



子育て広場

だっこでほっと

おはなし読んで

vol.16

子育て支援センター

☎・FAX 7221

色づく山々が、秋を感じさせてくれます。食欲の秋、運動の秋、読書の秋：といいますが、この時期に、からだの栄養、こころの栄養をたっぷり蓄えてあげたいですね。こどもたちは、お話が大好きです。見て感じたことを吸収して、それをからだやことばで表現します。1歳になつていないこどもたちも、絵本の読み聞かせになると、お母さんの膝に座り読み手の表情をじつとみています。読み手と目が合うのを待ち構え、おもしろい言葉の繰り返しに、「キャツ、キャツ」声を出して笑います。「家で絵本を見せても、興味を示さなかつたのに、喜ぶようになりました」今まで難しい絵本を選んでいただけ、こんな本が、この子に合うんですね。

「だっこ」を活用してください。少し大きくなると、「自分の読みたがるから」とか「もう字が読めるから」ということになつてしまいがちです。しかし、お母さんの優しいまなざし、優しい声、ぬくもりのなかでの読み聞かせは、こどもにとって生涯忘れる事のない大切なものとなることでしょう。子育て支援センターでは、「子育てぶつくる「だっこ」と称して、あそびの広場「だっこ」や各地域に向く「出張ひろば」や「子育てサロン」などで11月より絵本や育児書の貸し出し事業を始めます。たくさんのお絵本にふれていただきたいと思っております。みなさん、「子育てぶつくる「だっこ」」を活用してください。